



前會長 工學博士 故 渡邊三郎君

## 追 悼

### 前會長 贊助會員 渡邊三郎博士 を悼む

前會長贊助會員工學博士渡邊三郎君は昭和 26 年 1 月 8 日溘焉として逝去された誠に痛惜措く能はざるところである。君は明治 40 年 6 月東京帝國大學工科大学探礦冶金科を卒業し直に古河鑛業株式會社に入社された。同 44 年獨逸に留學シアーヘン大學鐵鋼研究室に學び大正 8 年ドクトルエンヂニアの稱號を授與せらる。歸朝後東京帝國大學工科大学講師を囑託され全 4 年日本特殊鋼合資會社を創立し、全 13 年に日本特殊鋼株式會社を創立して前者を合併して取締役社長に就任され爾來日夜業務に努められ社運益々隆盛に趣き今日の發展を遂げられた。

君は民間特殊鋼の創始者で官立八幡製鐵所が僅かにルツボ鋼で銃身材を作つていたに過ぎなかつた時に斯業に着眼し創始された非凡なる先見の明と決斷力之を完成した努力と手腕は誠に敬服の外はない。

君は夙に先考の記念に福壽研究所を設立し優秀なる研究技術者の養成指導に努められ幾多の發明を完成し斯界に多大の貢獻をなした。又本邦の資源に對しては常に深甚の關心を持たれ代用鋼の研究は率先して行ひ今日迄の代用鋼の大部分は君が研究によるものである。6%W 磁石鋼が使はれている時に Cr, Mn を主成分とする磁石鋼 FWM の發明、發動機排氣辨用耐熱鋼 FWV の發明、Ni 節約の代用鋼 Cr-Mn 強靱鋼マクロン及び強靱鋼タハード鋼の發明タービン翼用不銹鋼 STI その他多くの發明を完成され又歐米に率先して鋼中ガス分析法を完成して特殊鋼の品質改良に大なる功績を挙げられた。君は又本邦で始めてエルー式電氣爐を工業的大規模に使用され、高周波電氣爐及び 2 千屯水壓機を何れも率先して輸入しその効果を斯界に照會し又カウンターブローハンマーを設計設置してその有効なるを認めるや率先して輸入し曲軸等の火造に多大の貢獻を挙げられた。

君は又特殊鋼業界並に製鐵業界の指導に多大の貢獻を挙げられ特に戦後特殊鋼業界の最も困難な時に業界復興の爲め寢食を忘れて盡力され今日あらしめた功績は誠に感激にたえざるところである。君は曩に勳五等に叙し瑞寶章及び雙光旭日章を、昭和 17 年紺綬褒章を贈られ特に昭和 21 年 9 月には貴族院議員に勅選されるの榮譽を得られたことは之は製鐵鋼界君唯一人にして誠に感激措く能はざるところである。

本協會に對しては大正 15 年 4 月以來理事又は監事として、昭和 15 年 4 月より同 17 年 3 月迄は會長として、爾後前會長として前後 25 年の間最も熱心親切に會運の興隆に努められた又昭和 13 年には多額の資金を日本特殊鋼株式會社の名を以て本會に寄贈せられ特殊鋼の學術又は技術上の進歩發達に貢獻した學者、技術者及び工員の獎勵又は表彰の資に充てられたことは會員一同の永く徳とするところである。今や我が製鐵業界は復興の途中極めて重大なる時に當り溘焉として逝去さる誠に痛惜措く能はざるところである。萬物は流轉す。この地上にあつては何一つとして常住なるものはない。今や永久に君の聲咳に接するを得ずと雖も君の御靈は永く斯界に止り守護し給うことを信ず。

茲に君の偉大なる功績を偲ぶと共に御靈の御冥福を祈る次第である。

昭和 26 年 2 月

日本鐵鋼協會